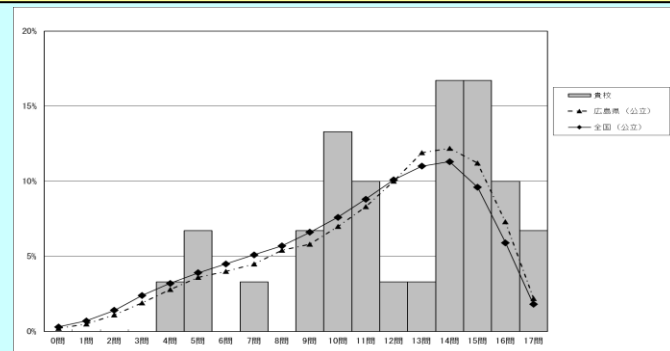
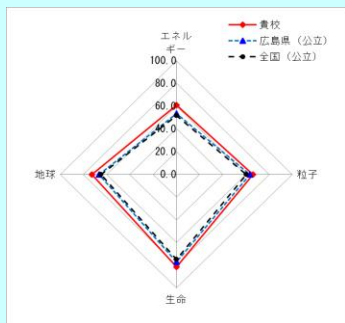


学力向上に向けた指導方法等の改善計画について [理科]

江田島市立 江田島小学校

令和4年度全国学力・学習状況調査 本年度通過率 (本校 71%, 県 66%)



領域別平均正答率

正答数分布グラフ (横軸: 正答数 縦軸: 割合)

本年度の結果について

○理科の結果において、平均正答率は71% (県平均より+5.0ポイント) の通過率となっている。領域別にみると、「エネルギー」60.8% (+7.5ポイント), 「粒子」66.0% (+2.4ポイント), 「生命」81.3% (+4.2ポイント), 「地球」72.7% (+6.0ポイント), である。基礎的な学習内容全般の定着ができているが、「粒子」領域が課題である。

重点課題

【課題1】

- 「鉄棒に付着していた水滴と氷の粒は、何が変化したものかを書く。」【通過率 48.4%】
- ・水が水蒸気になって空気中に含まれるということを理解していない。
- ・答えを求めるのに必要な情報を読み取ることができていない。

【課題2】

- 「水溶液の凍り方について、実験の結果をもとにそれぞれの水溶液が凍る温度を見だし、予想を基に、問題に対するまとめを選ぶ。」【通過率 58.1%】
- ・自分の意見をもつことはできているが、他人の考えを比較していくことが難しい。
- ・相手の立場に立って考える力が乏しい。

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

【課題1】

- ・習得した知識を、次の学習や生活などに生かすことができるように繋がりを意識して指導をしていく。
- ・理科で学習した科学的な言葉や概念を理解し、説明できるようにしていく。

【課題2】

- ・普段から相手の意見を聞く時には、比較することを意識させていく。(考えるすべ)
- ・自分と他人の考えを比較させることを通して、自分の考えを見直しながら多面的に考察していく。
- ・観察や実験をする際に、予想と照らし合わせながら結果について考えることを意識させる。
- ・問題や予想に合ったデータを選択できるように、条件に気を付けながら選び取るようにしていく。

【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	通過率50%以下の問題をさせる。(6年)	R3標準学力調査類似問題をさせる。(3~6年)	R2標準学力調査類似問題をさせる。(3~6年)	江田島市小中学校学力調査(3~6年)		R4全国学力・学習状況調査問題をさせる。(5年)	学年末テスト(3~6年)
目標値	70%	60%	60%	70%		65%	70%
実施後数値							

【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	通過率50%以下の問題をさせる。(6年)	R3標準学力調査類似問題をさせる。(3~6年)	R2標準学力調査類似問題をさせる。(3~6年)	江田島市小中学校学力調査(3~6年)		R4全国学力・学習状況調査問題をさせる。(5年)	学年末テスト(3~6年)
目標値	70%	60%	60%	70%		65%	70%
実施後数値							